

第 4 回 中央区自治協議会 会議録

開催日時	令和 7 年 9 月 26 日（金曜） 午後 3 時から午後 4 時まで
会 場	中央区役所 5 階 対策室
出席者	<div>委 員</div> <p>渡辺（雅）委員、近藤委員、米倉委員、久保委員、上之山委員、青山委員、伊藤委員、野澤委員、田中（秀）委員、山岸委員、高橋（鉦）委員、長谷川（文）委員、藤井委員、平井委員、上松委員、天本委員、田中（雅）委員、渡部委員、海藤委員、長谷川（敏）委員、高橋（直）委員、島垣委員、五十嵐委員、桑原委員、菅原委員、石橋委員、松川委員</p> <p>出席 27 名 欠席 5 名 （相田委員、渡邊（俊）委員、八木委員、森本委員、保坂委員）</p> <div>事務局・説明者</div> <p>〔新潟市教育委員会〕教育支援センター所長、中央図書館長 〔中央区役所〕 区長、副区長、窓口サービス課長、健康福祉課長、建設課長、東出張所長、南出張所長、地域課長、地域課長補佐</p>
議 事	<p>1 開会</p> <p style="text-align: center;">○ 会議の成立について 委員 32 名中 27 名出席のため、規定により会議は成立</p> <p>（議 長） 皆さん、こんにちは。次第に沿って説明させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>2 議事（議長＝山岸会長）</p> <p>（1） 令和 8 年度中央区特色ある区づくり予算（区役所企画事業）について （意見聴取）（資料 議 1）</p> <p>（議 長） はじめに資料 議 1 の「令和 8 年度 中央区特色ある区づくり予算（区役所企画事業）」について、高橋総務課長より事業概要の説明をお願いいたします。</p>

(総務課長)

ありがとうございます。皆さん、お疲れ様です。総務課の高橋でございます。よろしく願いいたします。着座にて説明させていただきます。

私からは、来年度の中央区特色ある区づくり予算、区役所企画事業案について説明します。お手元の資料議 1 をご覧ください。こちらの案件は区自治協議会条例の規定に基づき自治協議会に意見を求めるものです。次ページをお開きください。各事業は、区ビジョンまちづくり計画の四つの方針に沿って立案し、方針ごとに 6 事業を記載してあります。企画立案の過程においては、各部会でのご意見を、できる限り事業内容に反映していきたいと考えております。なお、区づくり事業にかかる予算は、今年度は区役所企画事業と区自治協提案事業合わせて 3, 300 万円ですが、今後、皆様からのご意見を含め、事業内容を精査していき、各事業の予算額を決定します。

それでは順に、事業概要を説明します。

1 番は、建設課の「だれでも 2 km ストリート」です。「にいがた 2km」の様々な取り組みが、横断的に展開される中、人中心のウォークアブルな空間形成に向けて、道路管理者として、バリアフリーの観点から、視覚障がい者用の誘導ブロックの整備を行い、誰もが訪れたくなり、快適な移動空間が整備されたエリアの実現を目指します。また、にいがた 2km エリアから、近郊の公共施設への誘導・誘客など波及効果の拡大を目指します。8 年度は、今年度につき、整備箇所及び優先的整備箇所の抽出結果に基づき、設置優先順位の高い路線について、一部の整備を実施します。

2 番は、窓口サービス課の「鳥屋野潟環境啓発事業—とやの物語」です。鳥屋野潟の認知度と環境意識を高め、広く市民等の取組みを促し、都市と自然豊かな水辺が共生するまちづくりを推進します。こどもたちへの啓発に重点を置いた出前講座、体験学習会、冊子教材制作などを実施します。また、一斉清掃や環境啓発パネル展など地域と連携した取組みを行います。

続きまして、めくっていただき、3 番建設課の「区民協働森づくり事業」です。汐見台周辺における防風対策を進めるため、地域や団体、有識者らと協働してクロマツによる森づくりを行います。3 年度で、クロマツ苗の植樹が完了したため、4 年度からはクロマツの除伐作業に着手するとともに、管理用通路や案内看板の設置を行っています。8 年度は、今年度に引き続き、隣接する海浜植物園への植栽などを行うとともに、広報活動などを行う予定です。

4 番は、建設課の「西海岸公園等利便性向上事業」です。令和 6 年 4 月のハマベリング!!! グランドオープン後、西海岸公園は多くの方に利用されており、施設に関する要望も数多く寄せられています。そのため、利用状況に応じた施設の充実が必要となっています。年度には、大階段を安心して利用していただくための土砂流出対策や、高台駐車場への円滑な誘導を目的とした案内看板の設置を行います。8 年度は、保護者用ベンチの増設や駐輪場の再整備、大階段上遊歩道の冠水対策に取り組む予定です。

続きまして、次のページ、5番地域課の「みなとまち新潟 次世代に向けた古町芸妓魅力発信事業」です。高校や専門学校等と連携し、学生が古町芸妓の活動を間近で見たり、実際に体験できる機会を提供し、若い世代への古町芸妓の認知度向上につなげるほか、学生と古町芸妓が古町活性化や芸妓業界について意見を交わす機会を設け、課題解決に向けた取組の検討を行います。また、古町芸妓をきっかけに、古町に人を呼び込むための手法等について若い世代とともに考え、ショート動画等を活用して市内外に向けて魅力を発信していきます。

6番は、同じく地域課の「地域のお宝！再発見事業」です。中央区の魅力を再認識してもらうため、地域資源を活用したまち歩き企画や、SNSなどの広報媒体を活用した魅力発信に取り組みます。8年度は、新潟シティガイドによる解説付きまち歩き「えんどこ」や、「夕日ウオーク」を引き続き実施するほか、インスタグラムを活用した企画などにより、あらゆる世代の人々が、地域を愛し、地域を誇れるまちの実現を目指します。

以上で説明を終わります

(議 長)

ありがとうございました。私の方から、今後の流れについて説明させていただきたいと思います。本日の全体会議では、事業の概要の説明がありましたが、10月の各部会で、所管する分野の事業の具体的な内容について、関係課の方が説明、ヒアリングをしていただく予定となっております。その後11月中旬の各部会で、意見を取りまとめていただき、11月21日の全体会議にて、各部長から意見を発表していただく予定となっております。

事業担当課の方からは、委員の意見を踏まえて予算要求を行っていただく流れとなっております。この場で、所属していない部会の分野の事業にも意見することは可能です。意見がある場合は、発言いただくか、後日事務局へ提出していただくという形となっておりますので、よろしくお願いいたします。

(2) 市立保育園配置計画に基づく白山保育園の閉園(案)について(意見聴取結果)

(資料 議2)

(議 長)

続きまして、次第の「2議事」に移りたいと思います。「(1) 市立保育園配置計画に基づく白山保育園の閉園(案)について(意見聴取結果)」となっております。

7月に勉強会と意見聴取を行い、福祉分野を所管する第2部会でも8月に意見交換を行いました。また、8月22日を締め切りとして、書面でもご意見を募った結果をまとめています。

資料議2の2枚目には、白山保育園の閉園に直接関係する意見を記載していますが、その他、意見交換では制度そのものに関する意見などもありましたので、この場で参考

までにご紹介をさせていただきます。

一つ目、少子高齢化が進む中、予算面を考慮しても民間の力を活用するのは当然であるが、行政と民間の役割分担を考えると、民間では負担が大きいと思われる、障がい児や医療的ケア児の受け入れを市立保育園で担っていただくことを検討していただきたい。

二つ目、下の子の育児が保育自由に該当せず、上の子が入園できない現行制度の見直しをしていただきたい。

三つ目、白山保育園は車道幅員が狭く、車での出入りに課題があったため、今後、保育園の新設や建替えを行う際には、通園しやすい環境づくりを検討していただきたい。以上の意見がありましたので、皆さんにもご紹介させていただきました。

白山保育園の閉園案に対しては、資料議2の2枚目に意見をまとめてあります。

一つ目、人口減少の現状を考えると、閉園はやむを得ないと考える。

二つ目、在園児については、4～5歳で転園するよりも3歳などの早い時期から転園した方がこどもは馴染みやすいため、転園のスケジュールを考慮していただきたい。

三つ目、転園においては、保護者の意向にも配慮しながら進めていただきたい。

四つ目、閉園にあたっては、保育士の処遇にも配慮していただきたい。

以上の四点となっておりますが、他に意見がある方はいらっしゃいますでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは資料のとおり、中央区自治会協議会委員意見として市長宛に提出させていただきます。

3 報告

――委員活動報告――

(1) 部会からの報告について

①第1部会（資料 報1-1）

(議長)

次に、「3 報告」「(1) 部会からの活動報告について」です。それでは松川委員、よろしくお願いいたします。

(松川委員)

第1部会の松川です。よろしくお願いいたします。まず、第3回8月22日の会議概要から報告いたします。資料報1-1-1をご覧ください。

区ビジョンまちづくり計画について、部会で取り組みたい事項について、各委員から説明がありました。主な提案としては、大学も参画したマルシェ等のイベントの実施、学生等が活躍できる場の創出、アニメ・マンガ等のコンテンツを活用したまちづくりの

検討、店舗情報やアクセス方法、様々な団体のイベント情報等を一元的なポータルサイトで紹介、区民の利便性向上のための多目的な公園整備の検討、空き家を活用した体験観光の検討、古町地区の活性化に向けた提案・フォーラムの実施、公共交通利用促進の具体的施策の検討などです。

意見交換の結果、若い力を活用したまちづくりに着目し、まちなかに人を呼び込むために大学生たちの若い世代がすでに行っている活動等について調査することとしました。その前段として、どのエリアにどのような商店街組合等が存在しているのかといった現状を把握することとなりました。

続きまして、第4回9月1日の会議概要ですが、資料報1-1-2をご覧ください。地域課から「にいがた2km」エリアの商店街振興組合等の情報提供をいただきました。

「にいがた2km」については、わからないことも多く、次回の部会で都市政策部から説明を聞くことになりました。確認したいこととして、企業の認識とギャップはないか、「新しいフェーズ」とは何が変わったのか、「目指す具体的なまち」とは、重点項目がわかりづらいなどの意見がありました。第1部会からの報告は以上です。

(議長)

ありがとうございます。続きまして、第2部会、石橋部会長お願いします。

②第2部会(資料 報1-2)

(石橋委員)

第2部会の石橋です。第3回及び第4回部会活動についてご報告申し上げます。

まず第3回部会についてです。先ほど山岸会長からご説明がありました、市立保育園配置計画に基づく白山保育園の閉園(案)について、記載のとおり質疑応答と委員からの意見をまとめました。主な意見としては、施設の老朽化や園児数減少の現状から、白山保育園の閉園は問題ないと考えられるが、一方で、保護者や在園児、保育士に対しては十分な配慮が必要ということでした。

次に、部会活動についてですが、各委員が取り組みたい事項について4つに分類してみました。①子育て・教育、②健康・福祉、③協働、④防災・防犯、これらの情報を集約して取りまとめる案が出されました。また、中高生を中心とした学生を対象に、学生の視点から地域課題について考えてもらい、課題解決を図っていけたら良いのではないかという意見があり、今後は、これらの手法について具体的に検討してみようというところで第3回が終わりました。

資料変わりまして第4回部会についてです。子どもたちと一緒に何か企画する、課題について考えるという時に、どのように子どもたちと接点を持つか、どんな形でアプローチしていくべきかという話が出ました。例えば、皆様のコミュニティ協議会と学校で連動している活動や、コミュニティスクールメンバーや地域教育コーディネーター

さん、こういった地域と学校を繋ぐ役割の皆様と、そこを經由して何か活動ができないかということです。あとは第2部会の方で音頭を取って何か催し物やワークショップをしたら、外部の民間事業者と協働してワークショップするなど、様々な意見が出ました。ただし、子どもたちと一緒に何かするというのをなぜやるのか、その後に何に繋げるのかという議論を分けて考えるべきという話がありました。結論としましては、資料中の「WHY（なぜやるのか）」に書いてある、子どもたちに地域のことを考えてもらうきっかけをつくるということをゴールにしています。事業をどこまでやっていくかなど様々な議論がありましたが、具体的に数字が見える事業まで進めていくのか、きっかけ作りまでできれば第部会としてはよいのではないかという意見がでましたが、最終的にはこの形で落ち着きました。今後の議論としては、アンケートの実施なのかワークショップの開催なのか、具体的なところを詰めていきたいと考えております。

皆さんにお願いですが、コミュニティ協議会など、普段の地域活動の中で、学校と地域で連携して動いているような活動があれば、情報提供いただきたいと思います。例えば、コミュニティ協議会さんと、学校と連携して防災の事業をやられているとか、音楽祭をやられているとか、何でもいいのですが、学校と地域が連携して何かやっているよという事業があれば、ぜひ第2部会の参考にさせていただきたいと思っておりますので、情報提供いただきたいと思います。後ほど皆様に改めてメールでご依頼させていただきますので、またメールで返答いただけると大変助かります。どうぞよろしくお願いいたします。

（議長）

ありがとうございます。続きまして第3部会、田中部会長、よろしくお願いします。

③第部会（資料 報1-3）

（田中（雅）委員）

第3部会から、湊地区コミ協の田中がご報告いたします。

前回の会議で「やっぱり実際に現状を見てみなきゃいけないよね」という話になり、9月2日に中央区内の施設及び水辺・公園を視察してまいりました。萬代橋・万代テラス・親松排水機場・鳥屋野潟・西海岸公園などを県や市の担当者の方から説明をいただきながら周ることができましたので、とても勉強になりました。ありがとうございました。

今回初めてスポットを当てたのは、万代テラスです。みなと緑地PPPの活用について、30年契約の開発が認められたということで、県の担当者の方や採択された企業の方から詳細を説明いただき、こういったことが動き始めているということを学び、新しい発見がありました。

この件は、昨日の日本経済新聞の信越版にも掲載されていました。紙面はお配りでき

ませんが、ご覧になりたい方はSNS等でもぜひご覧ください。

以上で報告を終わります。

(議 長)

ありがとうございました。続きまして、第4部会、天本部会長お願いいたします。

④第4部会（資料 報1-4）

(天本委員)

万代コミュニティ協議会の天本です。第4部会の会議概要についてご説明いたします。資料は1-4-1と1-4-2になります。

第3回は8月2日に開催いたしました。前回宿題になっていました、自分が紹介したい「中央区のスポット・まち歩きコース」について、各委員より提案していただきました。提案の内容としましては、県外観光客を対象とした、新潟駅から萬代橋、信濃川、北前船寄港地の歴史をめぐるまち歩き、新潟と佐渡を北前船の日本遺産で繋ぐまち歩き、新潟は、目的地への中継点という印象があるため、少しでも長く滞在してもらうためのまち歩き、「湊町の痕跡と歴史をめぐる」をテーマに、若年層を対象とした、謎解きゲームを通して歴史を楽しく学べるまち歩き、県外出身者の視点から、新潟らしさを感じるスポットを巡るまち歩き、西海岸公園エリアの石碑・歌碑を巡るまち歩き、湊町新潟の歴史と密接に関係する、神社仏閣を巡るまち歩き、地元民のみぞ知る昭和レトロなスポットを巡るまち歩きなどです。

様々な意見を出していただいた中で、もともと中央区にある歴史的資源は素晴らしいという前提で、いかに興味を持って関わっていただくかということで、謎解きしながら中央区の歴史を楽しく学べるまち歩きにスポットを当て、主に小学生を対象としたまち歩きについて次回また検討しようということで終わりました。

第4回の部会では、こどもとその保護者を対象とした、謎解きしながら中央区の歴史を楽しく学べるまち歩きについて、ターゲット層、対象エリア・コース、選定理由を各委員から提案していただきました。ターゲット層については全学年を基本とし、謎解きのレベルは低学年と高学年とで分けたほうがよいのではないかという意見が出ました。対象エリア・コースは、しもまち、古町からしもまち、白山神社などを巡るコース、古町・西大畑エリア、新潟駅から万代エリア、関屋分水から西海岸公園を巡るコースが提案されました。選定理由は、建物や、まちなみから、湊町の歴史・文化を学ぶことができる、神社や寺、石碑や歌碑から新潟の成り立ちや歴史を学ぶことができることです。

各委員の提案を踏まえ検討した結果、10月の部会では、新潟シティガイドの「予約のいらないまち歩き」のコースを基に、実際に歩きながら自分たちの目で見て、謎解きの材料となるスポット等を確認することとしました。

以上で報告を終わります。

(議 長)

ありがとうございます。最後に中央区自治協議会だより編集部会の、近藤会長お願いします。

⑤中央区自治協議会だより編集部会（資料 報1-5）

(近藤委員)

この度、自治協議会だより編集部会部会長になりました近藤です。私どもの部会は、少し遅れてスタートしましたが、事務局の方々から説明を受けながら、第1回目8月6日に部会長・副部会長・書紀の役を決めさせていただきました。

令和7年度の自治協議会だよりは、第35号が11月2日に発行予定であり、紙面の構成やイラストなど、どういう内容にしたらよいか検討し、若い世代の委員4名が各部会に所属することによって、若者の意見を取り入れた活動を行うという特色をメイン記事にしようということになりました。

そこで、各部会の若手メンバーへのインタビューを行いました。内容は、自治協を何で知ったのか、委員になったきっかけ、所属部会の選定理由、今後の意気込みなどについてです。事務局から要約していただき、次の第3回部会で内容について再度確認しましょうということで終わりました。

以上でございます。

(議 長)

ありがとうございました。そうしましたら、ここで質問等ある方、挙手お願いいたします。松川委員どうぞ。

(松川委員)

第1部会の松川です。第3部会にお願いがあります。新潟は市の弱みは、サイン看板が少ないということです。にいがた氷菓の陣にも行ってきましたが、西海岸公園の第2駐車場がいっぱいでポスターを見ましたがすごく分かりにくい。横七番町1丁目から徒歩1分、しもまち循環バスにここ4分、四ツ屋町2丁目から5分という表示がありましたが、現地に行くと看板も何もなくどっちに行けばいいかわかりませんでした。これは鳥屋野湯もしかりです。特色ある区づくり予算でも西海岸公園等利便性向上事業の所管部会になると思いますが、どうやって人を呼び寄せるか、そのためにはサイン看板が絶対に必要になると思いますので、増設していただきたいというのが私からのお願いです。

(田中(雅)委員)

第3部会の田中です。鳥屋野潟の件ですが、前期では、最終的に鳥屋野潟に集中して啓発しようということになりましたが、再度見直しながら周ってみると鳥屋野潟のポテンシャルに対して取り組んでいることが少ないという感想を持った委員が多かったようです。

自治協議会とは別の話になりますが、新潟市民大学でラムサール条約関連の講座があり、受講してきました。来年、ラムサール条約に指定された都市の国際ネットワーク会議が新潟市で開催されるということです。その中で、今年の春に国際湿地都市新潟の素敵なロゴマークが発表されましたが、掲示されている箇所が少ないと感じています。行政がするというよりも、もっと民間も使って、新潟駅からバスに乗る時のように、どう行けば鳥屋野潟に行けるのかなどが分かるように、CI戦略が必要と痛感しているところです。これからみんなで研究してまいりたいと思います。

(議 長)

他に質問やご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。

それでは私から、自治協議会だより編集部会へ提案です。私は新潟市全区の自治協議会全体の研修会で「自治協議会の認知度の向上」というテーマに出席しました。その際に秋葉区の「あきはくはつものがたり」という秋葉区自治協の広報紙の中に、「ジチキョー」とカタカナで書いてあるのを目にしました。全区でロゴを統一するのはどうでしょうかという意見が出ましたので、検討していただければと思い、提案させていただきました。

(近藤委員)

検討させていただきます。

(議 長)

ありがとうございました。ほかにはよろしいですか。

それでは、部会からの報告はこれで終わりにさせていただきます。

4 その他

(1) 区役所からのお知らせ

(議 長)

それでは次第4番、その他に移らせていただきます。区役所からのお知らせになります。地域課の佐藤課長、お願いいたします。

(地域課長)

ありがとうございます。お時間いただき、地域課からいくつかご案内させていただきます。

まず、「こども意見表明ファシリテーター養成講座の参加者募集について」です。配布させていただきました、カラーA4のチラシをご覧ください。この事業におきましては、NPO法人みらいずworksさんをまちづくりパートナーとしまして、昨年度から引き続き、2年目ということになりますが、中央区役所の独自の事業として実施させていただいているものでございます。こどもの権利、社会に参画する権利の保障の促進とともに、目指す最も大きな目標としましては、地域の担い手不足の解消ですが、そのためにはまず、地域においてこどもや若者の意見表明や参画を促していくことを目的としまして、こどもや若者の声を聞き、寄り添い、意見を引き出すことができるファシリテーターを養成するために、実施させていただいているものでございます。

参考までに、9月5日にみらいずworksさんが文科省文科大臣の諮問機関中央教育審議会にて、この事業のプレゼンをする機会をいただきましたり、県内外からも注目されている事業といえます。申し込み期間は、10月17日金曜日までとなっておりますので、ぜひご検討いただきますとともに、団体内等でのご周知につきましても、ご協力をよろしくお願いいたします。また、当事業の次のステージを見据えたモデルケース作りも構想しておりまして、学生から運営や事業の企画などに部分的に関わらせていただけるコミ協や自治会を探しております。先程の第2部会の動きと似ていますが、受け入れてみてもいいかなというような団体がございましたら、相談だけでも構いませんので、ぜひ私や地域課職員に教えていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

続けてご報告をさせていただきたいと思います。資料は特にございませんが、前回の自治協の全体会議でもご案内させていただきました、区長提案事業ハマベリング!!!のメインイベントとして位置づけている、「にいがた氷菓の陣」を9月13から15日の3連休に日和山浜向かいの西海岸公園において実施させていただきました。ご来場いただいた皆様、本当にありがとうございました。初日の午後3時頃まで小雨が降り続いてしまいましたが、おかげさまで2日目以降は天候にも恵まれまして、にいがた総おどりと松林を活用した「しもまち森マルシェ」との相乗効果によって、特に2日目は大勢の来場がありまして、3日間の来場者数合計が23,213人となりました。しもまちエリアの魅力を多くの方から知っていただける機会づくりができたと思います。次のステージに向けて、仕掛けを継続してまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

次に、「ENGAWAプロジェクト」について、ご案内させていただきたいと思います。配布資料A4の片面印刷のチラシをご覧ください。ハマベリングの実施当初から、新潟青陵学園さんとは、様々な連携をしてきたところですが、このプロジェクトも広い意味でハマベリングの一環で、しもまちのフレッシュ本町をはじめとする、まちなかのエリ

アにおいて、空き店舗問題や地域文化の創出といった地域課題の解決に学生が向き合いながら地域の人たちとともに、活性化の波を広げていこうとする取組でございます。今年度、フレッシュ本町内で当課が所管している露店市の仕組みを活用して、青陵学園の学生さんたちから露店の出店を試行してもらっているところでございます。

この度は、このチラシにあるとおり、学生と地域が力を合わせて繋がり場の場づくりを目指して、空き店舗のリノベーションに挑戦しようとしています。その場のコンセプトを縁側として単なる交流の場としてではなくて、学生の学び場、地域住民の皆さんとの共同運営によるシェアキッチン、昔ながらの露店や行商スタイルの屋台販売などの学生プロジェクトを通じた湊町文化の再生と継承のための拠点として、活用していく構想となっております。

現在は空き店舗のリノベーションのための資金集めが必要となっております。新潟市のクラウドファンディング型ふるさと納税の仕組みによってご寄附を募集しているところでございます。出来上がった拠点は地域外の皆様でも気軽にお立ち寄りいただける場となっております。厚かましいお願いとなりますが、趣旨をご理解いただきまして、応援していただける方につきましては、チラシの下の二次元コードからアクセスしていただきまして、ご寄附をお願いしたいと思います。

クラウドファンディング型ふるさと納税のことについて、詳細をお知りになりたい方は、右下の方に、さらに二次元コードがございまして、「ふるさと納税のやり方が分からない方へ」からご確認いただくか、後ほど私にお尋ねいただけたらと思いますので、お願いいたします。

税金の控除の対象になりますので、大きな負担感はございませんし、入力操作も簡単でした。期限が当初9月末まででしたが、233万円の目標金額に対して、まだ50万円ちょっとでございますので、延長を1ヶ月させていただいて、10月末までとなっております。ご知人等にも広くご周知いただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。

続きまして、水色A4カラーのチラシ「しもマルシェ」をご覧いただきたいと思います。青陵学園の取組との連動ということにもなりますが、10月4日土曜日に新潟柳都中学校3年生の皆さんが、フレッシュ本町内で露店市を開催します。地域の皆さんのお力を借りながら、露店をたくさん出店して地域を盛り上げます。生徒たちのやりがいや自信、地域や新潟市への愛着の醸成にもつながりますので、ぜひ皆様からご家族、友人、知人お誘いあわせのうえ、お越しいただけますようよろしくお願いいたします。

最後に、「しもまち湊ボーダーの日」のご案内をさせていただきたいと思います。B5のカラーチラシをご覧ください。こちらは10月11日土曜日に公民連携の有志によって、しもまち地域全域を開催エリアとして実施するものでございます。しもまち地域最大の魅力である人情を再確認し、住民同士や来訪者との交流を深め、しもまちの居心地の良さを感じてもらうというイベントになっております。住民の皆さんや来訪される方には、できるだけ湊町らしいマリンスタイルであるボーダー柄の服を着てきてもら

い、積極的に挨拶や声掛けをして、地域を歩いて回ってもらうという日常生活の延長線上にあるような自然体な、少しだけ特別な一日というような中身のものになっております。ご協力いただける方は、玄関先に自慢の宝物を置いてもらって、我が家の宝物展を同時開催しまして、交流しやすい状況もつくってまいります。それには、地域の日和山小学校のこどもたちの協力も打診しているところでございます。世代や立場を超えて顔の見える関係づくり、連帯感の醸成、地域外から訪れる人に地域の魅力をお伝えすることで、活性化につなげていこうとするものでございます。ぜひ皆様もボーダー柄の服を着て、ボーダーがなければ普通の服で結構ですので、しもまちを歩いてみていただけたらと思います。

長くなりましたが、私の方からは以上となります。

(議 長)

ありがとうございました。

(2) 委員からのお知らせ

(議 長)

続きまして、委員の方からお知らせがありましたら、挙手をお願いします。

松川委員をお願いします。

(松川委員)

第1部会の松川です。今回は公共交通研究家の松川として発言させていただきます。お手元の秋らしいパンフレット、「アプリでバスを無料デー」をご覧ください。昨年度か新潟市の肝いりの政策ですが、バス利用促進ということで8月24日に続いて、第4弾を10月19日の日曜日に開催します。新潟市を発着するバスは観光循環バスとか空港リムジンバスなどは対象外になりますが、普通の路線バスは無料になります。アプリ「りゅーと Link」をダウンロードし、無料一日バス乗車券を事前に申し込んだ方が対象になります。アプリに詳しくないという人もいらっしゃるかもしれませんが、新潟市は6回にわたってアプリのダウンロードのやり方等を教えてくれる日を設けてくれています。詳細は、新潟市のホームページにも載っていますし、古町ルフルでも3回開催していただけるそうなので、皆さん是非アプリをダウンロードの上、まちなかを巡っていただきたいと思います。

2枚目をご覧ください。第9期の第1部会で、インスタグラムを利用した、お店の美味しいものの発信「にいがた推しメシプロジェクト in 古町・本町」というのを企画して、今もアカウントは更新を続けておりますが、そちらとのコラボ企画も、今回8月に引き続き開催します。その名も「バスに乗って古町・本町の推しメシを楽しもう」ということで企画いたしました。25店舗登録いただいた中で、今回は11店舗のお店からご

協力をいただくことができました。アプリでバスの無料一日乗車券をお店で提示しますと、いろんな特典を受けることができます。例えば一番上の「キッチンバルペルソナ」さんは、ジャマイカ料理など多国籍の料理を楽しむことができます。万博に行かなくても世界の料理が楽しめるありがたいお店です。4段目の「BISTRO 酒彩い〜と」さんは、テレビでも紹介されましたが、オムライスが絶品です。この下「まじガマンできない」さんは、ふわふわのパンがいただけます。その二つ下「caffè ccino」さんはフルーツサンドが有名ですが、インスタ映えするうえに食べてもとても美味しいです。その三つ下「ぴえに。」さん、とてもおしゃれなカフェです。飲み屋さんもあるし、カフェもあるし、食事もできるということで、皆さんもぜひ無料バスでどこまでも行って、いろんなところでお昼を食べてカフェで楽しんでという充実した日曜日を過ごしていただきたいと思います。私からは以上です。

(議 長)

ありがとうございます。

そのほかございますか。近藤委員どうぞ。

(近藤委員)

入船コミ協の前回役員会で、「ENGAWA プロジェクト」のクラウドファンディングについて青陵大学の方からも説明いただきました。趣旨は賛成なのですが、周知の仕方が足りないのではという意見もあり、10月末まで期限を延長したということですが、見込みはどうでしょうか。

(地域課長)

20%位しか集まっていないという現状かと思いますが、期限を伸ばしてもらえたということで、一生懸命やっていくしかないのかなと思っています。メインでやっていたいる青陵学園さんも、今ほどお話があったように、入船コミ協さんにもお話させていただいたほか、地域のイベントの実行委員会にもご説明させていただきました。市外県外の人に届けるのは、なかなか難しいと思っていますので、まずは地域の皆さんに、まさに今日この場もそうですが、ご周知させていただいて、少しでも多くの寄附が集まるよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

(近藤委員)

事業の内容とか、もう少し丁寧な説明が必要かなと感じました。

(議 長)

ありがとうございました。その他にお知らせがある方はいらっしゃいませんか。

渡辺委員お願いします。

(渡辺(雅)委員)

有明台小学校区コミ協の渡辺です。先ほど石橋委員から依頼があった地域と学校の連携事例ですが、私たちのコミ協で実施していることをお話ししたいと思います。

昭和39年の6月に新潟市で地震が発生しました。毎年実施していることですが、発生日前後の土曜日に、有明台小学校と地域の方の合同による防災訓練を実施しております。それから、9月の第1土曜、日曜辺りに、有明台小学校の生徒を集めて神社を借りて、盆踊りやお祭りをするというのもコミュニティでやっております。12月の第1日曜日も有明台小学校の生徒と地域の人たちを集めまして歳末ふれあいお楽しみ会を毎年開催しております。小学校と地域のコミ協が協力してやっているということをご報告させていただきました。

(石橋委員)

第2部会の石橋です。情報提供ありがとうございます。また後ほど個別にお声かけさせていただきます。

(議長)

ありがとうございました。他にございませんでしょうか。

そうしましたら、次の議題に移らせていただきます。

5 委員からの議事提案に基づく討議

(1) 山岸委員提案討議(資料 討1)

(議長)

続きまして、次第の、「委員からの議事提案に基づく討議」に移らせていただきます。初めに私の方から趣旨について説明させていただきます。

こちらは、委員の提案により、第8期から中央区自治協議会の独自の取組として始まったもので、地域の課題について、他の地域ではどのように解決しているかなど情報共有、意見交換をするための時間とさせていただきます。全体会議の資料として、「中央区自治協議会委員提案に基づく討議事項の提案について」が配布されており、意見交換のテーマを募集しています。また、提案いただいた討議テーマは、会長・副会長で構成される「総務運営会議」で検討したうえで、全体会議で討議するかどうか決定させていただきます。今回は「猛暑下における避難所運営の備えと対応に

ついて」を討議テーマとして、私から提案させていただきました。

提案内容としましては、資料討1をご覧ください。災害時の避難所運営を考える際、2011年の東日本大震災や2024年の能登半島地震のように、寒さの中での避難生活をイメージすることが多く、地域の自主防災組織でも、アルミ保温シートや毛布、カセットコンロなど、寒さへの備えを中心に進めてきました。しかし近年は、異常な暑さが続いており、大規模災害によって電気や水道といったライフラインが止まった場合、避難所では熱中症など暑さによる健康被害が深刻化する可能性があります。そこで、夏の暑さを想定した避難所対策について、皆様の地域で課題と感じていることや、取り組んでいること、例えば、暑さを想定した訓練、熱中症対策の備蓄や設備、運営方法などありましたらお聞かせ願えればと思っています。

はい、米倉委員お願いします。

(米倉委員)

鏡淵小学校区コミュニティ協議会の米倉です。防災士としてお話しします、

寒さについては、電気がなくてもストーブがあるし、何とかなることが多いですね。今後は夏の避難所で暑さ対策をどうするかということを検討していかなくてもなりません、全国的に進んでいないのが現状です。学校などのプールの水を利用することや換気で風通しをよくすることなどが例としてありますが、電気が通っていたとしても、避難所である小中学校の体育館などは、ほとんどエアコンがないので、どうしようもないというのが実情です。

私の地域では、鏡淵小学校を避難所としていますが、5年前に8つの自治会で業務用の扇風機を10台購入しました。熱中症になりそうな時は車の中で過ごすことも必要なため、日ごろからガソリンを空にしておかないという対策もあると思います。そのほか案がある方はぜひお聞かせください。

(議 長)

ありがとうございました。他に案がある方お願いします。

はい。渡辺委員お願いします。

(渡辺(雅)委員)

有明台小学校区コミュニティ協議会の渡辺です。我々のコミ協では、停電に備えて、地域で電気自動車に乗っている方に提供を求めまして、防災時に来ていただくことになっております。大体3日位は電気を供給できるそうなので、多少の間は暑さ対策になると思います。実際にその想定で訓練も行っています。

あとは、発電機をお持ちの方は、避難時に持参するようお願いしています。

(議 長)

	<p>ありがとうございます。私がこの提案を総務運営委員会で話した時に、夏は冷蔵庫で500mlのペットボトルを2、3本凍らせておいて、避難するときに持って行けるように備えておかななくてはならないと話していたのですが、今ほど渡辺委員がおっしゃっていたような電気自動車や発電機の活用も地域で検討したいと思います。</p> <p>他にある方いらっしゃいますでしょうか。長谷川委員お願いします。</p> <p>(長谷川 (敏) 委員)</p> <p>まちづくり学校の長谷川です。私は18年前の中越沖地震の時に柏崎にいました。7月に発生したのですが、電気が復旧したのが早い所で、5日から一週間ぐらいでした。現代よりは暑くなかったですが、最初はうちわで扇いでいました。あとは、たらい桶の中に氷を入れて足を冷やしたり、脇の下に冷たいタオルを入れたりして過ごしていました。</p> <p>私も防災士なのですが、先ほど会長からお話がありましたが、夏場は必ず冷凍庫にペットボトルを入れておきましょうという話をしています。</p> <p>(議 長)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ほかにご意見がございましたら、後で私にお聞かせいただければと思っております。</p> <p>6 閉会</p> <p>(議 長)</p> <p>ありがとうございました。本日はこれにて閉会とさせていただきます。</p>
県議・市議	5 名
傍 聴 者	1 名
報道機関	1 社